

# 花と緑の銀行だより

203号 2017.5



大岩親水公園の夜桜(上市町)

## 目次

- 花と緑の提言 〈「上市町の花と緑のまちづくりについて」(上市支店)〉…………… 2
- 活動事例 〈「花と緑あふれるまちづくりの推進事業について」(高岡支店)〉…………… 3
- 技術講座 〈魅せる花壇づくり 1〉…………… 4
- 技術講座 〈富山で育つ宿根草の組み合わせとデザイン 26〉…………… 5
- 緑づくりコーナー 〈庭木に利用する樹種の特徴と管理～ハクモクレン、モクレン、サラサレンゲ～〉… 6
- この人あり 〈「花と緑と憩いの場」(入善支店)〉…………… 7
- 情報コーナー 〈平成29年度花と緑のコンクール、花しょうぶ祭り〉…………… 7



## 上市町の花と緑のまちづくりについて

花と緑の銀行 上市支店長  
上市町長 **伊東尚志**

上市町は、富山県東部に位置し、日本百名山の一つ「劔岳」をはじめ、大日岳、大辻山、高峰山等を有し、これらを源とする早月川、上市川、白岩川等といった水源からなる田園風景豊かな町です。かつては「市（いち）のまち」として栄え、農業、売薬業を中心に発展し近年では薬業関連の企業が多く進出しており、薬都・富山の中でも「薬のまち」としての存在を強く印象付けています。町の花である「リンドウ」は山岳地帯に生育し、乾燥させ薬用にも使用されており、「やま」と「くすり」の町である本町にふさわしい花として、町民に広く親しまれています。

また、全国各地から参詣者が訪れる全国名水百選の「穴の谷の霊水」や、眼目山立山寺・大岩日石寺を始めとする歴史ある寺院、立山信仰における重要文化財である黒川遺跡群、本町出身である細田守監督のアニメーション作品「おおかみこどもの雨と雪」のモデルとなった花の家なども存在しており、様々な魅力と存在感あふれる町です。



写真1 上市町のシンボルである霊峰「劔岳」

花と緑の銀行上市支店では、毎年、町内の公民館、保育所、小学校、道路沿いの地域花壇など約70箇所サルビアやマリーゴールド等のポット苗やチューリップ球根の配布を行っております。配布された花苗は地域住民の方々によって各地区の花壇やプランターに植え替えられ、町内外の方々に花の彩りを楽しんでいただけるよう管理させていただいております。

学校花壇につきましては、子どもたちが学校教育の一貫として花苗の植込みから除草、水やりなどの維持管理まで花壇管理を積極的に行っており、上市中央小学校、白萩西部小学校においては過去

に県の花壇コンクールで何度も高い評価をいただいております。

地域の緑花活動に積極的に参加していただくことで、花と共にある癒しのひとときを町中の多くの人々に届けるとともに、皆様により一層地域への愛着と誇りを持っていただき、さらなる地域振興、地域活性化にもつながればと考えております。



写真2 上市中央小学校 花壇

また、頭取・グリーンキーパー活動といたしましては、多くの町内外の方々に見ていただくため、スーパー農道沿いのオープンスペースに整備した頭取・グリーンキーパー花壇を平成28年度に新たに改良し、立体的で迫力のある花壇が完成いたしました。本町のシンボルである劔岳のように美しく、観る人をもてなし感動させるような花壇を目指し、今後も努力し、発展させていきたいと思っております。



写真3 頭取・グリーンキーパー花壇

最後に、頭取・グリーンキーパー及び町民の皆様方には地域の緑花活動に一層のご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

また、公益財団法人花と緑の銀行の今後益々のご発展と、皆様方のご健康及びご活躍をご祈念申し上げます。

## 花と緑あふれるまちづくりの推進事業について

花と緑の銀行高岡支店 事務局長  
高岡市花と緑の課 課長 広田利和

飛越能地域の玄関口である新高岡駅を有する高岡市は、富山県北西部に位置しており、全国でも有数の万葉集が詠まれた故地です。

市内の西側は山間地域で西山丘陵や二上山が連なり、北東側は富山湾、東側は庄川・小矢部川によって形成された良質な地下水を有する扇状地が広がるなど、市章にも表されているように深緑と清らかな水に包まれたとても自然豊かな地域です。

緑化の推進に関する総合的な計画である「高岡市グリーンプラン」に基づき、「緑化の推進に携わる人づくり」、「万葉集に詠まれた植物の普及の推進」に重点を置いて緑化活動を通して人と人とのふれあいや交流を図り、心の通い合う美しいまち「みどりあふれる 万葉のふるさと」の実現を目指しています。

市内各地区の花壇や町並みのフラワーラインの整備、さらには観光客の皆様に対して、花を通しておもてなしする取り組みを高岡大仏の参道である坂下町、勝興寺寺内町の2か所で続けており、観光客をおもてなしするだけでなく、地区住民の皆様在花づくりが根付いています。

これらの取り組みの推進にあたり、高岡支店では362名の頭取やグリーンキーパーが地域の緑化に活躍されており、来たる5月28日に開催されます、第68回全国植樹祭とやま2017の会場に設置する飾花プランターの植栽や、約1か月にわたる水



写真1 平成28年度モデル花壇：小勢緑化推進委員会

やりをはじめとした維持管理にも積極的に協力しております。

また、本市では4月に「バースデーメモリアルツリー植樹祭」を開催し、前年度に誕生した新生児の家庭に苗木をプレゼントすることで、苗木の成長とともに子どもたちが育つ環境づくりをしています。さらに、夏に向けて朝顔の苗を希望者に配布し、家庭や地域で、グリーンカーテンづくりを行い、エコ活動にも興味をもってもらえるよう、市民のみなさんがいろいろな形で花や緑とかかわっていただけるようにしています。



写真2 地域ぐるみのグリーンカーテンづくり

この他、市を代表する公園である高岡古城公園は、野趣味あふれた自然が息づき「日本さくら名所100選」等にも選ばれており、万葉集に詠まれ「越中万葉の植物」として紹介しているサクラ、マツ、ツバキをはじめカエデ、スダジイ、ケヤキなど多くの樹木が繁っています。また、市の花としているかたかごを始めとした多くの植物の普及推進のため、官民協働で環境維持に努めています。

花と緑の銀行高岡支店では、玄関先に一鉢の花を飾るなど子どもからお年寄りまで一人ひとりが、身近なところから緑化活動に取り組みやすい環境づくりを市民の皆様と共に推進していきたいと考えております。

# 魅せる花壇づくり ～ 1 元気で楽しい花壇づくり ～

花と緑の銀行 普及研修部

花壇を見に来た人を、あっと驚かせるような魅力的な花壇を作ってみてはいかがでしょうか。そんな仕掛けや工夫を考えるとその年の花壇づくりがとっても楽しくなります。

県内で見つけた魅力的な花壇づくりの工夫を紹介します。

## 1 苗の間隔に余裕を持った植え付け

真夏の暑い盛りでも、元気に花を咲かせ続けている花壇はとても魅力的です。花壇に花苗を植え付ける時は、それぞれの苗の生育量を十分に考えて、余裕を持った植え付け間隔を確保しておくことが、夏でも元気に花を咲かせ続けるコツです。苗が小さい時には、ついつい密に植えてしまいそうになりますが、それではすぐに混んできて、ムレてしまいます。特に、横に広がる花や高く育つ花の回りは広く空けておくことが大切です。

黒河地域振興会の花壇は花の種類に応じて、的確な間隔をとって植え付けられています。植え付け直後はやや寂しい気もしますが、2ヶ月もしないうちに、花壇はいっぱいの花で溢れます(写真1、2)。

また、管理通路を設けたり、小さなマウンド毎にグループ化して苗を植え付けておくことも、根や葉を健康に育てるポイントです。

混み過ぎた茎は早めに切り戻したり、間引きするなど、常に余裕のある生育スペースを確保しておくことが、夏にも強い花壇づくりの大切な管理作業です。



写真1 苗の間隔に余裕を持った植え付け  
(6月15日 射水市 H28黒河地域振興会)



写真2 真夏に花盛りの花壇  
(8月8日 射水市 H28黒河地域振興会)

## 2 育苗ハウスも花で飾って楽しむ!

梅檀山花と緑の推進協議会の「井栗の森夢花壇」は平成28年度の花のまちづくりコンクール(一般花壇)で最優秀賞を受賞しました(写真3)。

山合いのグラウンドに設けられた花壇は「オリンピックの五輪」～虹の架け橋～をテーマに、杉木立を借景として、色鮮やかで雄大な花壇に仕上げられていました。グラウンドに降り立ったときは、まさに、息を呑む美しさでした。



写真3 杉木立を借景にした色鮮やかで雄大な花壇  
(砺波市 H28梅檀山花と緑の推進協議会)

これに負けず劣らず感動的だったのは、すぐ横の育苗ハウスがとっても楽しく、花いっぱい飾られていたことです。

ハウスの上は青色のアサガオで、回りはプランターで花いっぱい飾られていました。さらに、ハウスの中に入ってみると通路いっぱい花が並べられ、天井からはたくさんのひょうたんが下がっていました(写真4)。

暑い夏の花壇作業の後に、このハウスの中で冷たいお茶でも飲めば、疲れもすぐにとれるような、美しく楽しい花飾りでした。



写真4 育苗ハウス中外の楽しい花飾り  
(砺波市 H28梅檀山花と緑の推進協議会)

# 富山で育つ宿根草の組み合わせとデザイン

## 26 ムラサキセンダイハギ

職藝学院

教授 渡邊 美保子

ムラサキセンダイハギは、北アメリカ原産の寒さと暑さに強い宿根草です。日当たりが良く乾燥した所を好みます。5月下旬に、青紫色の小花を茎に沿って互い違いに咲かせます(写真1)。下から順に咲き始める花は、次の日にはしぼんでしまう一日花です。てっぺんのつぼみが色づくまで7日程度で、開花期間が短い宿根草です。草丈は120cm位です。マメ科のため、ほとんど肥料がなくても育ちます。肥料をあげすぎると逆に暴れてしまいます。

ムラサキセンダイハギは、5月初旬に土を盛り上げてアスパラガスのような新芽を出します。茎は、あっという間に伸びます。昨日は無かったのに翌朝には、もうずっと前からここにいましたよ、というような顔をしています。茎は新芽が出てから10日後には50cm位になり、つぼみらしきものが現れます。この頃になると茎は身もだえするように、くねくね曲がってきます。そのまた3日後には、縦にびっしりと並んだつぼみを持った花茎は、天に向かって伸び始めます。それから5日もたつと90cm位になり、つぼみは薄紫色に染まります。つぼみは下から順番に一つずつ咲き進みます。不思議な事に、茎は花が咲き始めるとシャキッと背筋を伸ばしてきます。一番上の花が咲く頃には、最初に咲いた花は1cm位のさやえんどうに変わっています。これが1日ごとに風船のように、ぷっくりとふくらみ、寸たらずのスナップエンドウのようなおいしそうなお姿になりますが、7月中



写真1 ムラサキセンダイハギの花 5月下旬

旬頃になると鈍く光る漆黒に変わります(写真2)。これもまた、花壇のアクセントになります。

ムラサキセンダイハギの葉は、アヒルの足跡のように3枚一組になって付いています。雨にぬれると雨粒が葉の上で丸くなってダイヤモンドのように輝きます。光が透けて見える抹茶色の葉は見ているだけでなごみますし、10月下旬頃まで他の宿根草を引き立ててくれます。寒さにあたると、全体的に焦げたように真っ黒になります。急に気温が下がった朝は、花壇の中でドキッとするような姿が変わっています。

ムラサキセンダイハギの茎は噴水状に広がり、年ごとに大株になります。そのため、広い花壇の後ろの方に一株植えることをお勧めします。一生その場所で良いと思う所を探してください。なぜなら一度植えると、ちょっとやそっとでは動かせないぐらい移植が大変になるからです。花が終わってから、お隣の植物に迷惑をかける茎は、根元から何本か間引いてあげると良いようです。



写真2 ムラサキセンダイハギの黒く色づいた種 7月中旬

# 庭木に利用する樹種の特徴と管理

## ～ ハクモクレン、モクレン、サラサレンゲ ～

日本樹木医会富山県支部  
樹木医 西村正史

住宅街を散歩していると、いい匂いのする白や紫の比較的大きな花を沢山咲かせている花木をよく見かけます。これらは春を告げる花木の代表選手で、白い花を咲かせるのがハクモクレン（図1）、紫の花を咲かせるのがモクレン（図2）、白と紫の中間色の花を咲かせるのがサラサレンゲ（図3）です。

### 1 特徴

花の色や花木の大きさは異なりますが、モクレン科モクレン属に含まれる樹木であり、花が上向きに咲くということは共通しています。それぞれの特徴は以下のとおりです。

#### (1)ハクモクレン

3月下旬頃から4月上旬頃に白い花を咲かせます。花弁は6枚、萼片は3枚ですが、花弁と萼片はほぼ同じ形状ですので、花弁が9枚あるように見えます。成長すると、樹高は10～15mになるので、公園や街路樹向きです。しかし、剪定によって樹木の大きさを低くめに管理すれば庭木として利用することができます。

同じ頃にハクモクレンによく似た花を咲かせる花木にコブシがありますが、花は、下向き、上向きなど、自由に咲くという違いがあります。

#### (2)モクレン

シモクレンとも呼ばれ、4月中旬から4月下旬にかけて紫の花を咲かせます。樹高は2～5mと低木で、庭木に適した花木です。ハクモクレンと違い、萼片は非常に小さいので、花弁は基本の6枚です。

#### (3)サラサレンゲ

サラサモクレンとも呼ばれ、4月上旬から中旬

にかけて花を咲かせます。モクレンとハクモクレンとの交雑品種のため、両者の中間の形質を持ち、花の色もほぼ白から紫まで変化に富んでいます。花形や樹形などにも幅広い変異があり、多くの品種が作られています。

### 2 管理

日当たりのよい風通しのよい肥沃な土地を好み、乾燥を嫌います。ハクモクレンやサラサレンゲは広い空間であれば剪定などの必要は原則としてありませんが、狭い空間では4～5年に一度太い枝を強く切りつめます。花芽の分化は6月下旬～7月上旬です。花芽は枝の先端にできますので、7月中旬以降に剪定を行うと、花芽を剪定することになり、翌年の花が咲かないこととなります。注意してください。

なお、図1～3の写真はすべて富山県中央植物園で撮影したものです。



図2 モクレン（左下：花の拡大写真）



図1 ハクモクレン（左下：花の拡大写真）



図3 サラサレンゲ（左下：花の拡大写真）

## 花と緑と憩いの場

花と緑の銀行入善支店

栢山地方銀行 グリーンキーパー 島 加代子

私達は、男9名、女11名、計20名で活動を行なっております。

平成15年に栢山公民館が開設され、公民館前に花壇を設けて頂きました。当初はただ花を植えていただけでしたが、町内外への研修を重ねるにつれ花壇に対するデザイン、アイデアをいろいろ思いつきました。

その一つとして、1年草を植えるだけでなく、花木や宿根草を植えたりしてポリウム感を出そうとのことで、会員がお互いに宿根草（秋明菊、ホトトギス、トラノオ等）を持ち寄り植えました。それらは今よき住処となって縄張りを少しずつ広げながら咲いてくれています。一年草の花は花壇にも植えてありますがプランターにも植え、通路側に設置し奥行きを出すように工夫しています。

平成28年に栢山公民館敷地内の一角に長年の希望であった花壇を作ることができました。総面積251.5㎡（植付面積90.2㎡）の大きな花壇です。

まず、花壇のデザインを決め、そして少しでも経費削減との事で男性会員がテストピースを用意し、花壇の側面を縁取りしました。また、植付面積が広いので、前回同様に宿根草を植えることにし、今回は地域の方々に提供をお願いしたところ、沢山集まり驚きました。今年初めての花壇だから「きれいに咲いてくれるだろうか」、「宿根草が根付いてくれるだろうか」の不安がありました。予想以上にきれいに咲いてくれ安堵しました。

新しい花壇は幅広く通路を設けてあり、親子連れ、車イスでも通れるように配慮しました。また、栢山公民館の隣には栢山保育所もあり、花壇を通して施設の館内外共に子供も大人も一緒に集う「憩いの場」になることを願う私達です。



公民館の彩り



新たに大きな花壇で張り切っています...



### 〈情報コーナー〉

#### ■平成29年度「花と緑のコンクール」の実施予定

コンクール	応募締切	一次審査	審査日
○富山県花のまちづくりコンクール			
幼稚園・保育所花壇部門	7月12日	各支店（市町村）で実施	7月20～21日
学校花壇部門	7月19日	各支店（市町村）で実施	7月27～28日
花の道部門	7月24日	各支店（市町村）で実施	7月31日～8月1日
一般部門	7月31日	各支店（市町村）で実施	8月7～9日
○花と緑の標語コンクール	7月31日	—	8月下旬
○花と緑のポスター原画コンクール	9月11日	—	9月中旬

■第32回頼成の森 花しょうぶ祭りが開催されます。

「第32回頼成の森 花しょうぶ祭り」が6月9日(金)~18日(日)の10日間、県民公園「頼成の森」で開催されます。

約6haの水生植物園に、600品種70万株のハナショウブが咲き誇ります。

(詳細はホームページ等をご覧ください)



H28年6月の彩り・賑わいです



舟川べり(朝日町) H29.4.14



花と緑の銀行だより 203号

編集発行 公益財団法人 花と緑の銀行

〒939-2713 富山市婦中町上轡田42  
TEL 076-466-2425  
FAX 076-465-5923  
<http://www.bgtym.org/fgbank/>

富山県中央植物園

〒939-2713 富山市婦中町上轡田42  
TEL 076-466-4187  
FAX 076-465-5923  
<http://www.bgtym.org/>

県民公園頼成の森

〒939-1431 砺波市頼成156  
TEL 0763-37-1540  
FAX 0763-37-1450  
<http://www.bgtym.org/ranjyounomori/>

発行日 平成29年5月  
再生紙を使用しています。